

2020年度 第4回総合診療専門医検討委員会（通算23回） 議事録

開催日時 令和2年8月20日（木）18時00分～19時30分

開催場所 WEBまたは日本専門医機構 会議室

出席者 委員長 羽鳥 裕(WEB)
副委員長 有賀 徹 神野 正博(WEB) 生坂 政臣(WEB)
委員 有岡 宏子(WEB) 石松 伸一(WEB) 金丸 吉昌(WEB)
清水 俊明(WEB) 竹村 洋典(WEB) 田妻 進(WEB)
野村 英樹(WEB) 前野 哲博(WEB) 山田 隆司(WEB)
渡辺 毅(WEB)
欠席者 委員 北村 聖 横山 彰仁 (五十音順/敬称略)
出席者 理事長 寺本 民生
オブザーバー 監事 松原 謙二
厚生労働省 佐野 隆一郎
事務局 堀部 真人 他

議事に先立ち、寺本民生理事長より開会の挨拶があった。第4期は専門医試験を来年に控えた大切な年であり、委員会の組織編制から前期より見直し実務を迅速に遂行する「実動」の年にしたいとの話があった。

議 題

協議事項

- 総合診療専門医検討委員会の組織構成について（資料1）
 - 各委員より自己紹介がなされた。
 - 寺本民生理事長より、3人の副委員長を事業ごとに設置し、各部会をとりまとめる編成とすることが提案され、承認された。
 - 実務の部会長が承認された。部会の目標、目的の明確化や部員の選定については次回委員会時に説明することとなった。
 - 協議事項に応じたオブザーバーの参加依頼は委員長判断で行うが、委員会前の事前打合せにおいて議題内容の検討とともに事前の協議を必要とすることとなった。
- 総合診療専門医検討委員会の会議開催予定について（資料2）
 - 毎月第一木曜日、18:00を基本として開催することが提案され、承認された。
 - 委員会一週間前の木曜日に委員長、副委員長、理事長5名をメンバーとする事前打合せを開催することが承認された。この事前打合せで、副委員長が取りまとめた各担当部会からの議題を議論し、その上で委員会の議題として決定する流れが説明された。これにより、各部会には原則この事前打合せまでに議題を提出するよう依頼があった。
- プログラム認定関連について
 - 小児科研修細則について（資料3-1）
 - 細則(案)につき、清水委員より2か所の修正が指摘され、承認された。また、この小児科、救急の研修細則は内科とのダブルボードの議論の場においても有益なものとなるため内科学会との協議の場で資料とすることとなった。

- ・小児科・救急は3か月の研修期間のうちに必要な症例が経験できなかった場合、3年間の研修のうちに経験して研修手帳に記録する運用で可とするが、評価については、小児科・救急の指導医がどのように評価していくのか明文化することとなり、事務局で案を作成し次回委員会で検討することとなった。

2) 防衛医科大学校からの要望書（資料3-2）

- ・「自衛隊実働施設」「自衛隊実働地域」を「医療資源の乏しい地域」として認定するにあたり、これらの施設が全て新内科専門研修制度において「特別連携施設」と認定されていることから、総合診療プログラムの内科研修1年を充当すると質が担保できるのか、再度検討することとなった。

3) カリキュラム制の申請（資料3-3）

- ・申請1件が承諾された。

4) へき地研修免除申請（資料3-4）

- ・育児が理由であるならば、「免除」ではなくカリキュラム制を選択するように勧めるのが筋だが、Covid-19が事由であるならば柔軟な対応が必要であるとの意見があった。また、以下の3点の意見、

- ・プログラム統括責任者に事情を確認する。
- ・総合診療領域としてへき地研修は義務とするべきである。
- ・希望があった場合のプロセスも公平に明示する必要がある。

を踏まえたプロセス、書式が必要との判断がなされた。事務局が案を作成し、次回検討することとなった。

5) 連携施設の追加申請（資料3-5）

- ・2件の申請が承認された。

6) 中断届 2件（資料3-6）

- ・届出通り承認された。

7) 延長届 1件（資料3-7）

- ・届出通り承認された。

4. テキスト作成について

1) 出版社との契約について（資料4-1）

- ・4社に打診したが断られた経緯があり1社のみ検討となることが説明された。また、初版1000部、機構の買取は312冊分250万円分、著作権は出版社、原稿料は執筆者一律2万円(案)、販売は、直販とNetとなる等契約書(案)に基づき説明があり、承認された。

2) 総合診療テキストWG報告（資料4-2）

- ・来年の試験に向けて、テキストの発行時期、出題基準が決定次第周知することとなった。

5. 要望書について（資料5、当日資料1）

- ・専攻医より提出のあった「専門医制度の関する要望書」について、回答案が示された。回答前に内容を精査することとなった。
- ・9月20日に専攻医向けに説明会を開催することが承認された。

6. 臨床研究医コースについて（資料6-1、資料6-2）

- ・募集開始は9月中旬の予定であることの説明があった。
- ・総合診療領域も募集を呼びかけることが承認された。

7. その他

1) FAQについて（当日資料2）

- ・有岡委員より、機構に寄せられる質問のうち、事務局で回答するものと部会で回答するもの

の仕分けは早々にしてもらいたい旨事務局へ依頼があった。

- ・未回答分について、研修期間は週 4 日、32 時間以上の研修実態で可、また 1 日あたり 60 分以内の休憩時間を含めて週 32 時間以上、これを 4 週間で 1 か月とすることで承認された。

報告事項

1. 事務局の担当について（資料 7）

- ・ 8 月に事務局の担当変更があり、説明があった。また、事務局より次期に向けて TODO リスト一覧を作成するので共有されることが周知された。

以上